

アカデミー通信

発行者: アカデミー学院
責任者: 舟田 謙二
254-0903 平塚市河内 520-1
TEL 31-6831 FAX 35-1690
URL <http://www.academygakuin.com>
HOTLINE: jfunada@gmail.com

期末テスト必勝法

期末テストで最大限の結果を出す

だれにでもできる正しい方法がある

いよいよ今月末、と言っても20日から平塚市内の各中学校では前期期末テストが始まります。これまで夏期講習でやってきたこと、そして今、塾でやっている期末対策をいかに上手く活かすかが結果に直結します。

何事もそうですが、正しいやり方というものがありません。たとえば部活の練習などを見てもそのことはすぐわかると思います。間違った方法でいくらかやっていると、思うような結果は伴いません。

まず、得意教科や好きな教科は確実に得点できるようにケアルームに気をつけましょう。

苦手教科や嫌いな教科はついつい勉強時間が足りなくなりがちです。でもいくら得意教科で高得点しても、苦手教科で得点を落としていたのではプラスマイナスゼロになってしまい、もったいないです。苦手教科にこそもっと時間を取らなければなりません。そのためには、わからないところ、つまづいていくところまで戻って、しっかりと基礎を押さえることがとても大切です。また、よくわからないところは、塾の先生や友達にどんどん教えてもらいましょう。そのためにはアカデミー学院名物の無料補習を活用しましょう。各教科の先生が待機しているのです、わからないところは納得がいくまでしっかりと教えてもらってください。

1. 「苦手意識」

でもその教科が好きだ、面白いと思う人がいるということ、自分がまだ知らない面白さがあつたという面白さを見つけて、それが苦手教科克服の理由です。

2. 「練習不足」

どんな優れたスポーツ選手でも、将棋や碁、あるいはゲームでも、また料理でも、得意の陰には必ず汗を流す努力があります。これが練習です。勉強も同じで、わかっているつもりでも練習しなければ絶対に高得点できません。試験までに十分な練習量を確保するために、毎回の授業でも宿題をたくさん出します。宿題は必ずやつけてください。宿題忘れが2回続くと塾のほうから家に連絡が行って三者面談になります。

3. 「あいまいな知識」

得点できない三つ目の理由は、知識があいまいなまま試験に臨んでいるということです。どの教科も覚えなければならぬことがたくさんあります。試験直前になって全部覚えようとしても無理です。新しく学んだことはその都度、一つひとつを確実に身につけるのが一番です。また、人間は忘れる動物です。定期的な復習し、知識を確実にする必要があります。得意な人はみんなこのようにして勉強してきたのです。今からだと十分に間に合いません。逆に、今始めないと絶対に間に合いません。

補習を活用しよう

毎年、どの学年にもほぼ毎日塾の補習に来る人が何人かいます。中には学校から直接塾に来る人もいます。皆さん、補習・自習を活用して疑問点を解決し、準備しましょう。

舟田式ひも勉強法

①

1. 何よりも勉強の目的をはっきりさせる

多くの人が、勉強に目的意識を持たずに、学校で、あるいは塾や予備校で、ただ与えられることを無意識に、ほとんど機械的に勉強しています。

また、「親に言われるから」「試験があるから」「受験のため」「就職のため」「資格のため」に勉強しているとみんな思っています。これらは本当の勉強の目的ではありません。

「目的」を達成してしまおう、もう勉強する意味がなくなってしまう、五月病になつてしまつたり、勉強の意欲を失つたり、バイトに明け暮れる生活をしてしまつたりします。また、たとえ希望の会社に就職しても、何だこんなものか、と失望してやる気をなくしてしまふ人もよくいます(というか、どんな会社にも就職してはほとんどそんな会社に就職してはほとんどそんなものですが)。

「勉強の目的」とは、人生を豊かにすることです。この目的がわかっていないから、ほとんど生徒や学生が強制的にやらされていると感じて、勉強はつまらない、嫌いだと思つてしまつているのです。「自分の人生を豊かにするために勉強するのだ」ということがわかれば、勉強する意味がわかるようになります。やる気が出てきて楽しくなり、もはや全然苦痛でなくなります。人から言われなくても、試験がなくても、資格のためでなくても勉強できるようになります。

当たり前前のことのようにですが、「このところが日本の教育全般を見ていて欠落している」と常々感じています。

子どもの頃からの勉強が一生の生活へとひもでつながっている、という意味においてこれが「ひも勉強法」の基本なので

2. 勉強とは、個々バラバラのものでなく、すべてがつながっていて、意味がある

日本の教育のやり方は非常にまずいです。各教科間で有機的につながっていることをまったく示せていません。

また、ひとつの教科の中でも、単元と単元の間につながりが見えていません。だからみんな、個々バラバラに知識を頭に無理やり詰め込もうとしています。そして、生徒たちは無機質な、味気ない勉強を、意味がわからないまま、いやいややっています。つまり、勉強の全体像が見えていないのです。

どんな勉強をする時にも通じるのですが、すべてに原因・結果があり、私たちが現在見ていることは何かの結果です。この「原因と結果」というひもで、すべてのことがつながっているというのが見えてくるだけでも、勉強はわかるようになってきて、がぜん面白くなつてきます。

Kさんは英語と数学は大好きで、とてもよくできます。しかし、社会と理科は嫌いで苦手です。試験でも得点できません。理由を尋ねたところ、「社会と理科は暗記教科だから」という答えが返つてきました。とくに歴史が苦手だったのですが、彼女の勉強法は個々バラバラの暗記でした。そこで、

社会を個別部で勉強し始めたところ、歴史が有機的につながっていることが分かるようになり、全体の流れが見えるようになってきました。

家族みんなで頭の柔軟体操

④

問1 この中に間違いがひとつあります。どれかな？



問8 A、B、Cの3種類の本があります。この3つの本の中で一番評判がよく面白い本がCだそうです。でも本屋によるお客たちは必ずAの本を買っていきます。なぜでしょう？

問9 「簡単さん」「普通さん」「難問さん」というあだ名のおじいちゃんが3人います。この中で、一番良い人なのは誰？

問2 パパとママは2回ずつ会えるのに、父と母は1回も会えません。これって何のこと？

問10 しゃぶしゃぶ、おすし、焼肉。名探偵が一番好きなのはどれ？

8月号の答え

問3 100-11何色？

問1 北京

問4 日本産、ブラジル産、アメリカ産のコーヒーをのうち一番薄いコーヒーはどれ？

問2 34 (21+5+8)

問5 食べ放題の招待状を送ってきたのは、王様、王子様、お姫様のうち誰か？

問3 かくさない

問6 リカちゃんの後継者としてあとを継いだのは、誰もが「まさか!」と驚く日本昔話の主人公でした。さて、それは誰？

問4 な(かゆび)

問7 自慢話(400字×25回)

問7 一万字

問8 Aさん

問8 Aさん

問9 大まかに分けると世界に4つしかないのに、世界中の誰の家にも4つあるというものがある。それは何？

問9 月

問10 今回は残念ながら全問正解者はいませんでした。

問10 今回は残念ながら全問正解者はいませんでした。